

環境通信

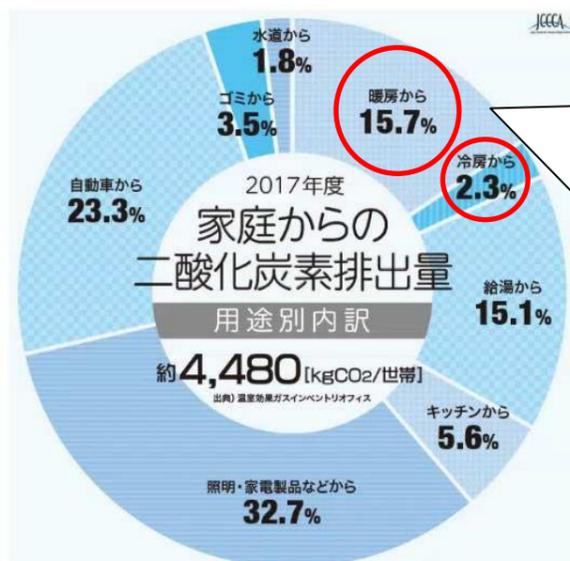
第7号(12月号)

令和元年12月発行(年4回発行)・発行元:大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

ウォームビズ(WARM BIZ)

ウォームビズ(WARM BIZ)とは、冬の時期の地球温暖化対策のひとつで、暖房時の室温を20℃を目安に快適に過ごすライフスタイルを推奨するものです。ウォームビズは、冬に活躍する暖房に必要なエネルギーの使用量を削減することによって、温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を削減し地球温暖化を防止することを目的としています。

※夏は、クールビズ(COOL BIZ)として室温28℃を目安に快適に過ごすことを推奨しています。



出典)温室効果ガスインベントリオフィス

日本の家庭の二酸化炭素排出量は、冷房よりも暖房の方が多いたことがわかります。これは、冷房は主にエアコンのみの使用であるのに対して、暖房はエアコンや電気ストーブ、灯油ストーブやファンヒーターなど様々な機器によってエネルギーを消費し、二酸化炭素を出していることが原因と考えられます。冬を快適に過ごすために欠かせない暖房機器。その使い方を少し工夫して、お財布にも地球にも優しい省エネ行動を心がけてみましょう！

例えば・・・

- ① **断熱マット**を敷いて、熱が床に逃げないようにしてみよう。暖房効率が上がります。
- ② カーディガン、ひざ掛け、ソックスなど、**着るものを工夫して温かく過ごそう**。
太い血管のある首元や足首などを重点的に温めることで体全体が温まります。
- ③ エアコンやストーブ、こたつなど暖房機器を併用する場合は、それぞれ**控えめな温度設定**を心がけよう。
- ④ 家族や友達と集まって**鍋**を楽しもう。

根菜類やショウガは、体を内側から温めてくれます。
冬が旬の食材を選び、仲間と鍋をすることで体も室内もポカポカに。
また、余っている食材を鍋に使うことで、食品ロスの削減にもつながります。



海洋プラスチック問題

私たちがジュースを飲んだ後のペットボトル、買い物した時に包んでもらうレジ袋など、日常生活の中でたくさん目にする**プラスチックごみ**。これらがきちんと処理されずに自然の中に捨てられると、その多くは河川を通じて海へ流れ込みます。そして海岸の波や紫外線などの影響を受け、非常に小さなプラスチックの粒子(**マイクロプラスチック**※)となり世界中の海を漂い、生態系への影響が心配されています。

世界全体で日々大量に発生する「海洋プラスチックごみ」は長期にわたり海に残存し、このままでは2050年までに魚の重量を上回ることが予測されるなど、地球規模での環境汚染が懸念されています。

マイボトル、マイバッグを持ち、使い捨てプラスチックの使用を減らしたり、ごみに出すときはきちんと分別して捨てるなど、プラスチックごみを減らす取り組みを考えてみましょう。

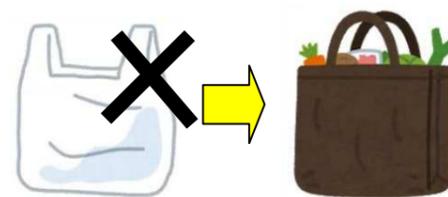
※マイクロプラスチック…サイズが5mm以下の微細なプラスチックごみ



日本は、ワンウェイ(通常一度使用した後にその役目を終えること)のプラスチック容器包装の一人あたりの廃棄量が、世界でアメリカに次いで2番目に多いと指摘されています。不必要なワンウェイプラスチックの使用を控え、マイバッグやマイボトルの使用を徹底したり、プラスチック製のストローの使用を控えるなど、**脱・使い捨てプラスチックの行動**を選択していきましょう！

このようななか、国はプラスチック製のレジ袋について、来年(2020年)7月からすべての小売店に有料化を義務づける方針をまとめました。石油などの化石資源からできたプラスチック製のレジ袋に有料化が義務づけられ、業種や規模にかかわらず全国の全ての小売店が対象となります。また、レジ袋の価格や売上げの使いみちは、事業者みずからが決めるとしています。

私たちの周りのさまざまな場所で使われているプラスチック製のレジ袋。大分県では平成21年6月から、多くの食品スーパー等でレジ袋の無料配布が中止されています。



今年4月時点のマイバッグ持参率は、県内食品スーパー等において83.6%(32事業者203店舗の平均)、大分市においては、83.4%(参考店舗数70店舗)となっています。

(大分県ホームページ:マイバッグ持参率等/レジ袋の無料配布中止より)

【プラスチックスマート—for Sustainable Ocean—】

プラスチックスマートとは、海洋プラスチックごみの問題解決に向けて、個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体が、それぞれの立場でできる取り組みを環境省が応援し、さらに広げていくことを目的に実施するキャンペーンのことです。プラスチックとの賢い付き合い方を国内外に発信しています。キャンペーンの参加方法など詳細は、プラスチックスマートホームページを参照ください。(HP:<http://plastics-smart.env.go.jp/about/whats/>)

ホームページには、企業や個人、団体などが考えるプラスチック製品に対する取り組みやイベントなど、様々なアイデアや情報が掲載されていますので、是非ごらんください。



第7期 地球温暖化対策おおいた市民会議委員を紹介します！

氏名 小野 鶴子
団体名等 大分市地域婦人団体連合会
団体肩書き 副会長



本市民会議委員として第5期から参加しています。

未来を担っていく子どもたちに、小さい頃から「今、自分たちが住んでいる地球のためにできること」をわかりやすく解説し、一緒に考え理解を深めていくことを繰り返して行っていくことが大切であると考えており、所属団体で温暖化対策に関わる普及啓発に取り組んでいます。また、その根本に「水を出しっ放しにしない」「食べ残しをしない」など「もったいない精神」を忘れないことも重要であると考えています。

氏名 細井 利男
団体名等 NPO 法人大分環境カウンセラー協会
団体肩書き 監事



第5期からこの市民会議に参加して5年目になるのですが、昨年あたりからやっと委員らしい振る舞いができるようになった気がします。それは、小学校での出前授業や地球温暖化対策講座の立案・計画等に参加できたことです。個人的には、NPO法人大分環境カウンセラー協会の一員として地域の小学校の環境教育や公民館で地域（津留地区）の人たちに、地区を流れている川の水質浄化について毎年お話をしています。

氏名 木下 輝代
団体名等 NPO 法人緑の工房ななぐらす
団体肩書き 会員



第5期から本市民会議のメンバーとなり、今年で5年目になります。

所属しています「NPO 法人緑の工房ななぐらす」の活動の1つである「久住町の21世紀の森づくり活動」では森の下刈の作業で汗を流しています。また、市内のいくつかの小学校と日田市、臼杵市、中津市、別府市、直入町等の幼稚園、保育園で緑の保全活動に関する普及啓発活動を行っています。

氏名 小坂 正則
団体名等 NPO 法人九州・自然エネルギー推進ネットワーク
団体肩書き 代表理事



今年度（第7期）から本市民会議委員として初めて参加します。

大分県環境アドバイザーを務め、2001年に当NPOを設立。2012年4月自宅を改装して、市民図書館「松明楼」を開設。（中津の作家松下竜一氏の資料など無料で図書閲覧と会議室の利用可能。）
2012年4月に著書「市民電力会社をつくろう」を出版。

氏名 溝部 敏勝
団体名等 公募委員



第6期、第7期の市民会議に参加しています。

私は電機メーカーを退職後、企業等へのコンサルタント業務や非常勤講師等に携わっています。環境分野では「環境省の地球温暖化防止コミュニケーター」や「大分県地球温暖化防止活動推進員」として、地球温暖化防止に向けた普及啓発活動に取り組んでいます。

氏名 野田 清文
団体名等 公募委員



今年度（第7期）から委員として初めて参加します。

地球温暖化対策に関わった仕事や団体に所属したことはなく、環境問題等に関する専門的知識も持ち合わせていませんが、地球温暖化をはじめとする環境問題は多岐に渡っており、次世代の人々の為にも、多くの人々が関心をもって改善を図る必要があると思っております。私のモットーは、物を大切に使うモットー文化や物を機能的に使う日本の精神の具現化です。

氏名 桑野 恭子
団体名等 エコアクション21 地域事務局おおいた
団体肩書き 理事



本市民会議の設立当初（第1期）から委員として参加しています。

一級建築士として建築やまちづくりの仕事に携わる一方、2004年「NPO 法人地域環境ネットワーク」の立ち上げに関わったのをきっかけに、環境保全活動や市民活動の中間支援などに取り組むようになりました。大分県や県内市町村からは、建築、景観、環境、エネルギー、廃棄物、市民活動、男女共同参画等の分野の委員や審査員としてお声掛けいただいています。また、社会福祉士の資格を有していることから、市民活動に取り組む際には、年齢やハンディ等を問わず話をお聞きいただけるよう心掛けています。2008年に環境省「環境カウンセラー」の登録を受けました。

委員のみなさん、ありがとうございました。次回は3月の発行です。お楽しみに！